

取材ご案内

報道機関 各位

立命館アジア太平洋大学

2015年10月28日

APU リリース 2015-51

～大学生協運営の食堂では、国内最大規模※～

立命館アジア太平洋大学(APU)

カフェテリア ムスリムフレンドリー認証取得

取材・見学会実施のお知らせ

《スケジュール》

2015年11月4日(水) 場所: APU キャンパス内

14:30～15:00 生協職員による認証取得についての説明会

15:00～16:00 見学・撮影会

～カフェテリア厨房内、SHOPへご案内

※約900席、授業日については約3000名へおよそ8500食を毎日提供している大学生協のカフェテリア(食堂)として

《見学会について》

お手数ですが、参加人数を把握させていただくため、**取材ご希望の方は11月2日(月)までにAPU広報担当まで、お申し込みくださいますようお願いいたします。**営業中のカフェテリア厨房内にお入りいただくため、**対象エリア内の取材・撮影をしていただけるのは、本見学会のみとさせていただきます。**ぜひこの機会にご参加ください。また、個別取材をご希望の場合は、取材可能エリアが限定的になりますことをご了承ください。

2015年9月30日付で、APUのカフェテリアがイスラム法に基づいたハラール認定基準を部分的に満たしたムスリムフレンドリー施設として、NPO法人日本アジアハラール協会より認定を受けました。当カフェテリアでは、これまでもハラールの食事を提供してきましたが、本認証によりどなたにでも、より安心して利用いただけるようになりました。提供するメニューは、全36品目で、和食、洋食、中華、エスニックなど様々なハラールメニューをお楽しみいただけます。

《APUでのハラールメニューの始まりと取り組み》

2000年に開学した当時のAPUカフェテリアでは、ハラールを希望するイスラム教徒の学生が食べられるものがほとんどありませんでした。当時のカフェテリアの店長が、学生からハラールメニューへの注意事項を聞き取りし、彼らが普段食べている簡単なメニューを厨房で作りながら教えてもらい調理していました。生協職員と学生の共同作業から生まれたのが、APUのハラールメニューです。今では、カフェテリアで人気メニューの多くがハラールです。現在、一日に調理されるハラール鶏肉(ブラジル産)は、約100kgを超え、校内ショップでも一部ハラール食品を取り扱っています。

2015年5月現在、APUには、5881名が在籍しており、2765名(46.5%)が77の国と地域からの国際学生(留学生)です。この国際学生うち、474名がイスラム協力機構加盟国から来ており、本学が位置する別府市には、九州初のモスクが建てられました。

(イスラム協力機構加盟国: イスラム諸国をメンバーとする国際機関。57カ国が加盟)

【本発表資料のお問い合わせ先】 学長室(広報)担当: ジョーンズ・宮腰

Tel:0977-78-1114 携帯:090-5473-3803 住所: 〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1